

◆総務水道常任委員会◆

日程 令和4年10月28日  
視察先 福島県磐梯町

デジタル変革戦略室の  
取り組みについて

働き方改革や業務効率化のためDX推進が求められている中、さまざまな取り組みを行っている福島県磐梯町とオンラインで視察を行いました。

福島県磐梯町

世帯数 1,195世帯  
人口 3,294人  
面積 59.77km<sup>2</sup>  
(令和4年11月30日現在)

福島県磐梯町では、「地方課題の解決にはデジタル化が不可欠」「デジタル化により町民全てを幸せにする」「先行者利益により企業や人材を呼び込む」との理念をデジタル化導入にお

ける柱とし、2019年から町長のリーダーシップの下に、3年間の時限組織として「デジタル変革戦略室」を立ち上げ、行政のDX化を強力に推進しています。

磐梯町町政アドバイザー、最高デジタル責任者を設置し、幹部職員・一般職員向けのDX初期研修会の開催により、職員の意識改革に努めながら、業務改善の取り組みとして、ベンダーからのシステムを購入せず、職員がコツコツとアプリを自製し、実装しているなど具体的な取り組みも数々ありました。また「コニカミノルタ」「東京インタープレイ」等との包括連携協定を締結し、民間の力も活用しています。

議会DXについては、2019年10月に全員協議会による勉強会を開催し、磐梯町議会「デジタル変革検討委員会」を立ち上げ、2020年6月定例会ではオンライン常任委員会を実現しています。

自治体におけるDX化とは、自治体がデジタル技術を活用して住民本位の行政、地域、社会を実現するプロセスです。磐梯町の先進的な取組事例は吉川

市のDX推進に向け大変参考になるものであり、総務水道常任委員会全体で意識を高めることができた有意義なオンライン視察となりました。



オンラインで説明を受ける委員

「ひよこの家」は、現行の適応指導教室の仕組み自体に問題があるのではないかと、学校に行けない子どもたちの権利を守るのは町の義務、学校復帰という選択肢しかないのか、おかしこと認識から平成15年9月に高根沢町教育委員会が不登校の児童生徒のための居場所として開級したのが始まりです。

「ひよこの家」の理念は、「どこで学ぶかではない、何を学ぶかが大切だ」の考えの下、表面的な学校復帰を目的としていません。「ひよこの家」は学校に代わる学習の場ではなく、まず子どもたちが安心して心を休ませ、自分らしい自分を発見し、社会的自立をしていくための居場所となっています。

◆文教福祉常任委員会◆

日程 令和4年10月26日  
視察先 栃木県高根沢町

フリースペース「ひよこの家」

全国的に課題となっている不登校への対応について、そうした児童生徒のためのフリースペースを設けている栃木県高根沢町の現地視察を行いました。

「ひよこの家」での生活は、決まったプログラムや時間割は無く、スタッフや保護者と相談しながら自分で決めていきます。成果としては、通級している児童

行いました